

令和元年度

「新潟市区自治協議会委員研修会」

の記録

新潟市市民生活部
市民協働課

目 次

1	開催概要	1
2	プログラム	
(1)	市民協働課説明	2
(2)	区自治協議会の役割に関する取組み報告	4
(3)	パネルディスカッション	14
3	アンケート結果	19

1 開催概要

【目的】

更なる区自治協議会の活性化のため、各区自治協議会の特徴的な取組みを共有し、区自治協議会に求められる役割に対する理解の促進を図るもの

【概要】

○開催日時・会場

- ・日時 令和元年7月1日(月) 13:30 ~ 15:30
- ・会場 北区文化会館(新潟市北区東栄町1丁目1番5号)

○プログラム

1 市民協働課 説明

- ・テーマ：第7期自治協委員への期待について
- ・説明者：市民協働課 課長 松屋 賢治

2 区自治協議会の役割に関する取組み報告

- ・発表者：南区自治協議会 小田 信雄 様
西区自治協議会 加野 麻理子 様
北区自治協議会 松田 正實 様
秋葉区自治協議会 小林 俊介 様
- ・進行：特定非営利活動法人 まちづくり学校 横尾 文子 様

3 パネルディスカッション

- ・登壇者：同上

○参加者

- ・当日参加者 122名

(区別内訳)

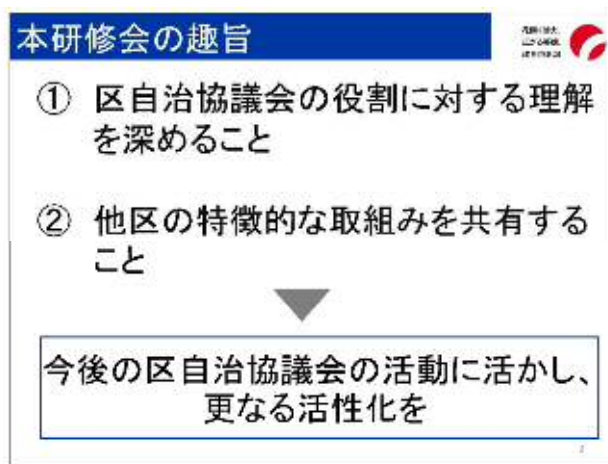
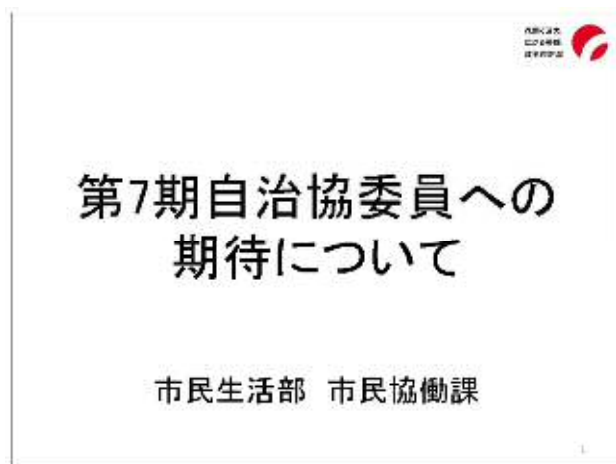
(人)

北 区	東 区	中央区	江南区	秋葉区	南 区	西 区	西蒲区	合 計
17(30)	14(30)	23(38)	22(30)	12(30)	10(30)	17(36)	7(30)	122(254)

※()内はR1.7.1時点の各区自治協議会委員数

2 (1) 市民協働課説明

市民協働課課長 松屋から、「第7期自治協委員への期待について」をテーマに、区自治協議会に求められる役割や、委員に期待すること等を説明しました。



区自治協議会の役割



大きな役割は2つ

「審議会」の役割

行政区を主体としたまちづくりを進めるため必要な審議を行う役割

「協働の要」の役割

「大きな区役所」と地域団体・住民とをつなぐ役割

1

区自治協議会の役割の変化



求められる役割も徐々に変化

「審議会」の役割

▶ 合併建設計画に関する議論も終わり、建議・意見聴取数は減少傾向に

「協働の要」の役割

▶ 更なる地域課題の解決に向け、「実施主体」の役割や、「地域代表」の役割が新たに派生

1

区自治協議会の現在の役割



「審議会」の役割

- ・ 聴聞/審中
- ・ 必要意見聴取
- ・ 意見具申(建議)

「協働の要」の役割

【区民等と市との協働の要】
・ 区民等の主体的参加
・ 多様な意見の収集、取りまとめ
・ 区役所との連携
生活に関する課題を捉え、関係者の意見聴取を行う

【地域連携活動のコーディネート】
・ 行政と民間等が連携して実施する、コミュニティ学校や健康イベントなどのコーディネート
協働活動を開始し、支援に向けて取り組まなければならない

「地域代表」の役割

- ・ 自治会での議論を団体へ持ち寄り、連絡へ活かす。
- ・ 市から各種事業年度の報告書を受け、地域へ届出する。

「実施主体」の役割

- ・ 自治会協働事業の企画、実施等に主体的に取り組む。
- ・ 活動誌の発行

3

自治協のあり方検討と見直し



■ 区自治協議会のあり方検討委員会(平成29年度)

【今後の方向性】

これまで以上に、組織のあり方を区の実情に合ったものにする

- ・ より区の実情に応じた運営を図れるよう、条例等を改正
- ・ 各区自治協議会において、制度改革を踏まえた見直し等を実施

区の実情に応じた特徴的な取組みが活発化

3

これからの発表



「審議会」の役割

▶ 南区自治協議会
小田 様

「協働の要」の役割

▶ 西区自治協議会
加野 様

実施主体の役割

▶ 北区自治協議会
松田 様

地域団体との連携

▶ 秋葉区自治協議会
小林 様

3

おわりに



3

2 (2) 区自治協議会の役割に関する取組み報告

区自治協議会に求められる役割のうち、審議会の役割、協働の要の役割、実施主体の役割に関する特徴的な取組みについて、4区の委員から報告をしていただきました。

また、聴講した委員からは、報告を聞いて感じた事項や質問点を付箋に記入していただき、報告後のパネルディスカッションに活かしました。

○南区自治協議会 小田様による報告（「審議会」の役割に関する報告）



委員からの意見

議論するテーマと報告だけで済む事項をきちんと分けるべきである。

区長マニフェストなど、区政運営に係る事項を議論して区政に反映すべきである。

部会の役割検討特別部会

- ・部会のあり方
- ・自治協提案事業の実施方法

南区自治協議会部会の役割(イメージ図)

【現行】

- 〔本会議より付託された事項の審議〕
- ・区づくり予算の審議
- ・区ビジョンまちづくり計画の審議

提案事業

〔単独・連携事業〕
部会自らが企画・提案・実施

【変更後】

- 〔本会議より付託された事項の審議〕
- ・区づくり予算の審議
- ・区ビジョンまちづくり計画の審議

・区長マニフェストの検証など

提案事業

〔支援事業・連携事業〕

〔単独・連携事業〕
部会自らが企画・提案・実施

区長マニフェスト PDCAサイクルイメージ

PLAN 計画
区長マニフェスト作成

↓

南区(行政)

↓

DO 実践
事業推進

↓

CHECK 評価
南区自治協議会

↓

ACTION 改善
課題整理 目標改善

↑

PLAN

説明
意見聴取
公表

協働

提案
評価

第一部会

第二部会

第三部会

区民

区長マニフェストの検証結果の報告

委員の皆様から頂戴したご意見は

- 速やかに取り組む事項
- 中長期的に検討する事項
- 予算要求を伴う事項

に分類し
効果・効率的な事業実施、
次年度予算編成の参考とします

渡辺南区長

区長・副区長と議題等の打ち合わせ

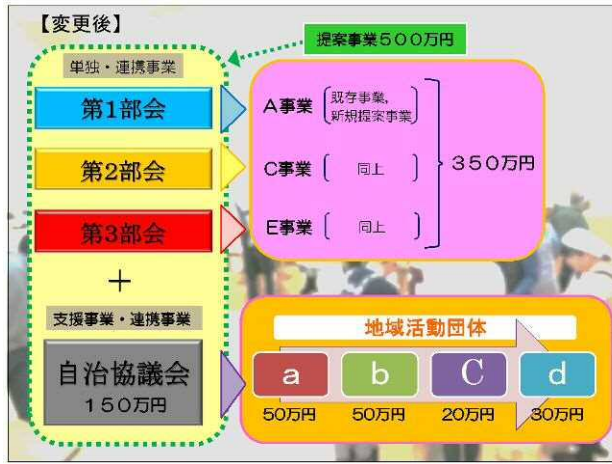
区長・副区長と自治協会会長・副会長で毎月事前打ち合わせ

・本会議の議題について
・区の課題の共有など

区自治協議会提案事業の変更

【現状】

<p>第1部会 公共交通、防犯・防災ほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A事業 ・B事業 	} 500万円
<p>第2部会 健康・医療、福祉・教育ほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・C事業 ・D事業 	
<p>第3部会 経済、観光、文化・スポーツほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・E事業 ・F事業 	



○西区自治協議会 加野様による報告（「協働の要」の役割に関する報告）



**どうすれば広がる？
降雪時の支え合いの取り組みの輪**

西区自治協議会のとりくみ

西区自治協議会 第2部会
加野 麻理子

きっかけ

平成30年の大雪
→特に西区では普段経験しない雪の量。
狭い道・夜道などが多く除雪車などが入らない。

○区役所だけでなく自治会長や民生委員に高齢者等から「助けてほしい」と除雪相談が多かった。
取り組みをしている人や団体に負担が集中
○歩道やゴミステーションなど公共の部分

大雪を受けて

自治体 会院前の雑談「大変だったね」「雪はこんな量だったよ」「もっとこうだったらいいのにね」

2018年6月
第1部会(防災、防災、自然環境、住環境等所管)と第2部会(保健福祉、文化、教育等所管) 合同で降雪についての意見交換

- ・区役所での除雪体験について
- ・大雪時の助け合い活動
- ・大雪時、首が大変な思いをした。(次の雪に替えて)なんとかしたい

意見もや 課題の 共有

もっと全体的に話ができるといいわ

→ 本会での検討へ

実際の検討方法

- ・自治体本会の場で3か月にわたり全3回実施
- ・検討のテーマは「降雪時の支え合いの輪を地域で広げるために」
- ・区役所が・・・ではなく、住民・地域団体・自治協として何が出来るかを検討した。

第1回(10月) 現状の共有
取り組み事例の共有

第2回(11月) 課題の洗い出し
支え合いの輪を地域で広げるための課題の洗い出し

第3回(12月) アイデア出し
第2回で話し合った課題解決案のアイデア出し

・第1回(10月) 現状の共有
○新中浜町内会「おたすけ隊」の事例紹介
自治会の有償ボランティアで除雪等に取り組む事例の紹介

○自治協委員から地域の取り組み事例や状況等の報告
自分の地域ではどんな状況だったかや地域での対応、助け合いの様子、工夫などを意見交換

第1回(10月) 現状の共有
取り組み事例の共有

第2回(11月) 課題の洗い出し
支え合いの輪を地域で広げるための課題の洗い出し

第3回(12月) アイデア出し
第2回で話し合った課題解決案のアイデア出し

・第2回(11月) 課題の洗い出し(グループワーク)
地域別に4つのグループに分かれ、現状や課題、こうしたら良いのではというアイデアを話し合い

出された意見(主なもの)
・マンパワー不足
・近所づきあいが少なくなっている
・地域での支え合いの大切さを伝えていくことが必要
・子どもたちや若者にも参画してもらいたい



第1回(10月) 現状の共有
取り組み事例の共有

第2回(11月) 課題の洗い出し
支え合いの輪を地域で広げるための課題の洗い出し

第3回(12月) アイデア出し
第2回で話し合った課題解決案のアイデア出し

・第3回(12月) アイデア出し(グループワーク)
第2回で話し合った課題、「地域での助け合い(共助)の大切さをどのように広め、次世代へどのように伝えるか」

出された意見(主なもの)
・支え合いの大切さを伝えるために
→ 標語募集、自治会等の集まりの場で話し合い、広報誌の活用...
・地域のコミュニケーションづくりのために
→ 休日に一斉雪かき日、班ごとの茶話会...
・若者に協力してもらうために
→ 学校の体育の授業で雪かき、学校単位で支援隊をつくる



実施してよかったこと

○部会を越えた議論
・グループワークが良かった。
・少人数で話し合いをすることで、一人一人の意見を出し合い検討できた。

○多様な人材の宝庫
・自治協委員は様々な地域、様々な団体から集まってきている。
・また所属する部会によっても視点が異なる。
・こうした多様性から様々な意見、面白いアイデアが出された。

○議論の内容を区民に発信
・検討の様子を、自治協の広報紙や区だよりで周知。
・多くの人が降雪時の助け合いについて考える周知活動につながった。

今後について

○まだ「検討」した段階、本当に大切なのは自治協としてこれからどんな取り組みができるか。

○自治協という多様な人の集まりから面白いアイデアが出された。
これから、それぞれが持っている強みやつながりを発揮して取り組みを実施、展開していければ。

○雪＝毎年降るものではない ものに対し、どう備えていくか。
降雪時に支え合える地域は、普段の助け合いや災害時にも支え合える地域

↓

課題解決のアイデア実現に向けて話し合いを行います。

○北区自治協議会 松田様による報告（「実施主体」の役割に関する報告）



自然文化部会について

文化・スポーツ、環境などの分野を所管

【平成29年度】

○北区の潟の魅力発信事業

福島潟のラムサール条約登録に向けて、区民の理解を深め、水辺環境の保全と活用を図るため、大熊孝新潟大学名誉教授を講師として、自治会長向けの講演会を開催しました。また約20年更新されていなかった、水の駅「ビュー福島潟」の展示をリニューアルするとともに、区内の様々な水辺を紹介する「北区の水辺マップ」を発行し、区内外に北区の水辺の魅力を発信しました。



自治会長向け講演会
日時：平成29年11月30日（木）
会場：北区文化会館
参加者：78人（自治会長）
講師：大熊孝 新潟大学名誉教授
演題：越後平野の変遷とからうして
景された潟
～ラムサール条約都市・
新潟に向けて～

20年ぶりに水の駅「ビュー福島潟」の展示を見直し、次の4つを実施



- ①オオヒンケイのはく製（冬季期間限定）
- ②アクリル板（5枚 両面）
- ③景色解説表示（5カ所）
- ④福島潟等の紹介映像（2作品）



「北区の水辺マップ」を7年ぶりにリニューアル。水辺への分かりやすい地区と解説、潟の上空から撮った写真を入れた「北区の水辺マップNEW」は、北区役所・北出張所や水の駅「ビュー福島潟」等で配布

【平成30年度】

○福島潟の魅力発信事業

豊かな自然環境の活用と観光増進につながる方策を考えるため、前会の研修として、改修工事が進む福島潟や、新潟医療福祉大学構内外を見学しました。

また、河童の目線から、自然の豊かさに気づいてもらおうと、福島潟に暮らす河童が主人公のファンタジー『河童のユウタの冒険』（斎藤博夫著）に賛目し、挿絵作家が描いた「ユウタの権家」の絵を大きく引き伸ばしたタペストリーを制作・展示しました。原画も展示できるようにし、水の駅「ビュー福島潟」の展示をさらに充実させました。併せて、ラムサール条約やその理念についての理解を深めるための啓発パネルやパンフレットを作成し、展示、配布しました。

継続的に、より広く福島潟の魅力を発信していくことが今後の課題です。



『河童のユウタの冒険』上・下巻
著者：博夫 / 挿絵：井田 菜津子 / 発行：福音館書店



11月25日（日）
シンポジウム「河童のユウタの冒険」と福島潟



5月25日（金）新潟地域振興局職員から
福島潟の治水工事について説明を受ける

「ユウタの権家」タペストリーの展示

ラムサール条約やその理念を深めるため、パネルやパンフレットを作成

○秋葉区自治協議会 小林様による報告

(「実施主体」の役割(特に地域団体との連携)に関する報告)



秋葉区自治協議会の取り組み

第1部会 部会長
小林 俊介

新海市 秋葉区自治協議会
区民主動サポート宣言

秋葉区自治協議会は
このまちに暮らす区民が
主体となってまちづくりに関わり
行動する「区民主動」を
全力で
サポートすることを宣言します。

2018年4月25日

秋葉区自治協議会の部会は4つ

- 第1部会 (まちづくり)
- 第2部会 (福祉・交通)
- 第3部会 (教育・文化)
- 広報部会 (自治協のPR)

あきは 子ども大学

第1部会 提案事業

「きらめく秋葉区」に向けた
あなたの提案をお待ちしています

課題解決 きらめきサポートプロジェクト

KIRAMEKI SUPPORT PROJECT supports your problem

平成28年度 スタート

第1部会 課題解決 きらめきサポートプロジェクト

応募
↓
一次審査
↓
二次審査
↓
採択
↓
協働実施

説明会

第1部会 課題解決 きらめきサポートプロジェクト

	応募数	採択数
平成28年度	4	4
平成29年度	12	4
平成30年度	11	6

菩提寺山フェスティバル

秋葉里山ガイドの会
& こどもくらしJAM

9.16日

2団体のコラボレーション

「里山ビジターセンター」
来場者数 1,026人

過去
最多数

にいつ夏まつりを体感しよう

新津第一中学校 地域教育コーディネーター

7/27日 新津第一中学校
13:00~17:00

- 体験会・見学会の開催
＜協力＞
・三之町町内会・新津松坂協会
- 新津松坂流しへの参加
- 課題の再認識

「新津の魅力かるた」で 脳トレ&ふるさと教育

新津第一小学校 地域教育コーディネーター

- かるた交流会の開催
＜協力＞
・商店街・自治会/町内会・老人クラブ
- かるたレンタル仕組み整備・PR
介護施設、子ども食堂、他地区...

在郷町小須戸「町屋ギャラリー薩摩屋を拠点とした地域活性化イベント」

小須戸コミュニティ協議会



小須戸 ひな 町屋めぐり

■商店街とのコラボレーション

■「町屋ギャラリー薩摩屋」来場者数 (1~3月)
H29度903人→H30度1,345人

「鉄道の街」のさらなる活性化をはかる事業

鉄道OBを中心とする会



Click!

■平均80歳！鉄道OBの追憶の記録

■記憶の映像化、YouTube配信
新津鉄道資料館HP「鉄道座談会記録集」

秋葉山分岐点案内図設置

熊沢公園

新津中央コミュニティ協議会



■現地調査、デザイン

■分岐点案内図 8基
矢印標識 6基

第1部会 課題解決 きらめきサポートプロジェクト

■「協働の要」として「つなぐ」

応募団体

自治協

他の団体
ノウハウ
行政

■地域課題と人材の発掘
■既存の団体、個人のやる気を刺激
■双方に「気づき」が生まれる
■幅広くPRできる
■自治協議会のPRにも

■事業の継続性
■部会横断

令和元年度 秋葉区自治協議会提案事業

課題解決

「誇れる秋葉区」に向けた あなたの提案をお待ちしています

きらめきサポートプロジェクト
KIRAMEKI SUPPORT PROJECT supports your problem

説明会
7月3日(水) 午後7時~
新津地交交流センター

30~50万円
採択数3件
(予定)

秋葉区自治協議会の取り組み

第1部会 部会長 小林 俊介

新高市 秋葉区自治協議会
区民 主動 サポート 宣言

秋葉区自治協議会は
このまちに誇れる秋葉が
生まれ「まちづくり」に開かれ
活動する「区民行動」を
全方で
サポートすることを宣言します。

2018年4月25日

2 (3) パネルディスカッション

各報告に対する会場からの意見・質問を基にパネルディスカッションを行い、区自治協議会に求められる役割に対する理解を深めました。

(パネルディスカッションの様子)



(研修参加者から提出された感想・質問の付箋)

【南区 小田様の報告に対する感想・質問】



【西区 加野様の報告に対する感想・質問】



【北区 松田様の報告に対する感想・質問】



【秋葉区 小林様の報告に対する感想・質問】



○ディスカッションの内容

(コーディネーター 横尾様)

ここからは、各発表に対し皆さまから頂いた感想や質問を基にディスカッションを進め、自治協の役割に関する理解を深めていきたいと思えます。

ディスカッションに入る前に、頂いた感想やご意見のポイントをまとめましたので、皆さまと共有させていただきます。

(サブコーディネーター 成田様)

まず南区自治協 小田様の発表内容についてですが、最も多かった意見は、「自治協としての役割が明確であり、分かりやすく理解できた」というものでした。また、質問として多かったものは、「区長マニフェストの検証結果について、より具体的な内容を知りたい」というものでした。

次に西区自治協 加野様の発表内容についてですが、最も多かった意見は、「大雪などの災害に備えるためには、普段からの取組みが大事であると感じた」というものでした。また、質問として多かったものは、「議論の結果、支え合いの仕組みについてどのような変化が見られたのか知りたい」というものでした。

次に北区自治協 松田様の発表内容についてですが、最も多かった意見は、「国内外の観光客向けの PR をもっと工夫できそうである。交通網を整備すれば福島潟により人が来るのではないか」というものでした。また、質問として多かったものは、「観光客に対する具体的な取組みを知りたい」というものでした。

最後に秋葉区自治協 小林様の発表内容についてですが、最も多かった意見は、「提案型とすることで、自治協委員の負担も大きくなっているのではないか」というものでした。また、質問として多かったものは、「事業の採択から実施までの流れを知りたい」というものでした。

(コーディネーター 横尾様)

ありがとうございました。それでは、ディスカッションに入ります。まずは、審議会の役割に関する小田様の報告を聞いて、小林様いかがでしたでしょうか。

(秋葉区区自治協議会 小林様)

秋葉区自治協議会でも、報告事項が中心となっている本会議のあり方について議論をしたことがありました。

市側の報告を聞いて、それに対して質問をしても方向性が変わることがあまりないため、そのうち委員が疲れてしまうという部分があったのです。

そのようなことがあったので、南区自治協議会の取組みを聴いて、「そのような方向性であると委員になった意義が出てきそうだな」と感じました。

(コーディネーター 横尾様)

ありがとうございます。この方向性に至るまでにはなかなか難しいところもあったかと思いますが、小田様いかがでしょうか。

(南区自治協議会 小田様)

やはり難しかったです。

南区自治協議会も、かつては報告が中心であり、行政のガス抜きのように感じられるところもあったことから、南区自治協議会として本当に担うべき役割とは何なのかを協議しました。コミ協とも違う、自治会とも違う区自治協議会の役割とは何なのか。委員の皆さまとともに議論した結果、区政が形成される過程に関与していくことが最も重要なのではないかという結論に至りました。

もちろん我々委員は、市議会議員とは違いますので、決定権は有しておりませんが、市民の体感的評価を伝えていく、意見として述べていくことが重要であると考え、その認識を委員間で共有いたしました。

(コーディネーター 横尾様)

自治協ならではの働きかけができるということですね。生活している中で感じていることを大切に、区長に直接伝え、少しでも同じ方向を向いていきたいということでしょうか。ありがとうございました。

次に西区自治協議会の取組みについてですが、たくさんのご意見をいただきました。そのなかで、皆でアイデアを出しながら少しずつ議論を進めていくことができたのは、どのような工夫をしたからなのかという質問がありますが、この点はいかがでしょう。

(西区自治協議会 加野様)

まず大きな前提条件として、各々の委員が大雪時の対応を自分事として捉えていたということがあったと思います。誰もが「何とかしなければならぬ」と感じていました。

また本会議でグループワークをしたのですが、西区は地域ごとに特性が異なるため、部会単位ではなく、4つに区分した地域単位でワークを行いました。そのおかげか、委員の皆さんからは、課題や考えられるアイデアなどを積極的に出していただけました。

(コーディネーター 横尾様)

リアルな感覚を引き出すような環境を整え、進めていったということですね。ありがとうございます。

北区の取組みについてもたくさんのご意見・ご質問が寄せられています。

ご意見の多くが、「応援しています！」というものですが、「あとどれくらいで登録となるのか」というご質問を頂いておりました。いかがでしょうか。

(北区自治協議会 松田様)

取組みを始めて3～5年ぐらい経つのですが、当初は2018年に向けた登録申請を目指しておりました。が、様々な事情により申請が難しくなり、今は次回の申請タイミングに向けて、地域へのPRなどの取組みを進めているところです。

(コーディネーター 横尾様)

PRの仕方については、新しいパンフレットや掲示物の作成といった取組みを進められているということでしたが、感じている課題などはございますでしょうか。

(北区自治協議会 松田様)

我々の取組みについては、市内8区の方々にはまだまだ浸透していないのが現状かと思えます。が、まずは北区の方々に理解していただくことが重要かなと考えています。

また昨年あたりから、新潟東港に豪華客船が多く入港しておりますが、その方々が北区へ訪ねてくることはあまりありません。そこで、今後は近隣にある観光資源も生かしながらインバウンドを含めた取組みを考えていくことも必要かと考えています。

(秋葉区自治協議会 小林様)

ひとつ感想をよろしいでしょうか。

平成29年度に自治会長向けの講演会があったようですが、自治会長に限らず、他の方々も加えたらもっとよかったと感じました。と言いますのは、「自然」というのは、外の人間でないとその良さを指摘できないという性質があるのです。地元の人間では気づきづらいところがある。ですので、外の方も参画できるようにすれば、もっとよくなるのかなと思いました。

(コーディネーター 横尾様)

外の方々から応援してもらおうという手法はどうかというお話しでしたが、いかがでしょうか。

(北区自治協議会 松田様)

ありがとうございます。

ご指摘の点も部会で話題にし、改善していきたいと思えます。

(コーディネーター 横尾様)

色々な評価が必要とされていると思えます。ありがとうございます。

次に、秋葉区自治協議会の取組みについてですが、住民が主体となる取組みを応援するというので、多くの共感の意見が寄せられています。

一方で、自治協委員の負担はどうなのかの質問も出ています。いかがでしょうか。

(秋葉区自治協議会 小林様)

実は、先日の部会の中でも「すごく大変」との声も出ていたのですが、この事業は「(きらめきサポートプロジェクトに)関わりたい」との希望を出した委員で進めているものですので、楽しんでやっていただければと思っています。

(南区自治協議会 小田様)

南区自治協議会でもサポート事業を行っておりますが、秋葉区の実践を参考にスタートしたものの、現在では進め方が少し異なっています。

私どもの区では、委員の負担を軽減するため、実際の活動はすべて市民団体に任せています。もちろん委託ということですので、成果は求めていきますが。

秋葉区では、第一部会のみで取り組んでいるということですので、さぞかしお忙しいことかと思えます。

(秋葉区自治協議会 小林様)

成果を求めすぎてしまうと、事業を着実に実施できる団体しか採択できなくなってしまう点もあるかと思えます。

秋葉区では、仮に成果があまり出ない結果に終わったとしても、今後それを反省点として取り組んでいただければという思いで、皆で力を合わせてやってみようじゃないかという思いでおります。

(コーディネーター 横尾様)

どちらも魅力的だと思います。

秋葉区さんは、チャレンジする方を応援すると。

南区さんは、より本格的でステップアップしたものを応援しているということでしょうか。

いずれにせよ、どちらも楽しんでやれるということが原動力となっているのでしょうか。

(秋葉区自治協議会 小林様)

それもありますが、アイデアを形として作り上げていく中で、委員が非常に勉強できるんですね。そこが一番の魅力かなと思っています。

(コーディネーター 横尾様)

楽しむだけでなく、事業を進めていくなかで、調整力だったり、構成力だったりといった点が鍛えられていくということでしょうか。

ありがとうございます。

あっという間に終わりのお時間となってしまいました。

本日は、区自治協議会の役割についてお話を深めてまいりました。是非本日の内容を地域に持ち帰っていただき、今後の活動の役立てていただければと思っています。

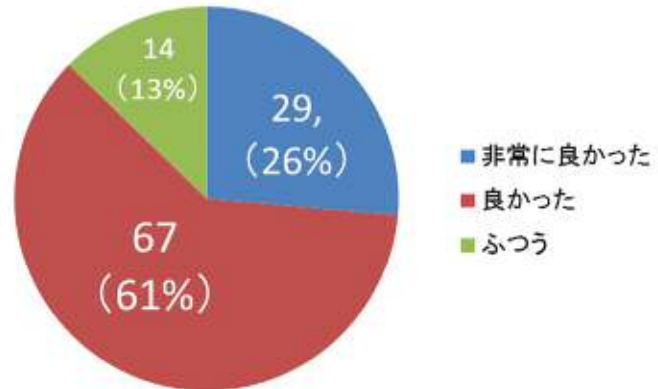
本日はありがとうございました。

3 アンケート結果

○本日の研修会の内容はいかがでしたか？（回答数 110 件）

・非常に良かった	29 件 (26%)
・良かった	67 件 (61%)
・ふつう	14 件 (13%)
・あまり良くなかった	0 件 (0%)
・良くなかった	0 件 (0%)

約 9 割が「非常に良かった」又は「良かった」と回答



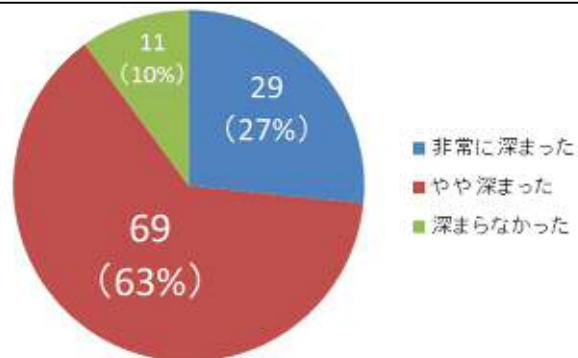
【主な意見】

- ・今まで知らなかった他区の実践を勉強することができ、参考になった。これからの活動に活かしていきたい。
- ・刺激を受けることができた。感銘を受けることができた。
- ・自治協の意義や役割、委員としてのあり方が分かった。
- ・発表の内容、資料、進め方が分かりやすく、理解を深めることができた。
- ・研修会で得た知見をこれからどう活動にいかしていくかが課題である。

○研修会参加前と比べ、区自治協議会の役割に対する理解は深まりましたか？（回答数 109 件）

・非常に深まった	29 件 (27%)
・やや深まった	69 件 (63%)
・深まらなかった	11 件 (10%)

9 割が「非常に深まった」又は「やや深まった」と回答



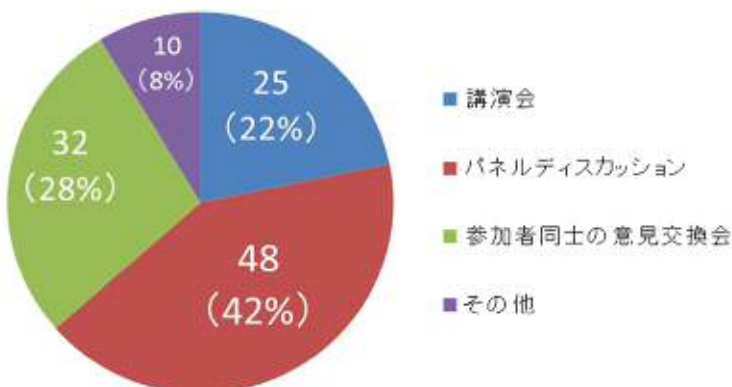
【主な意見】

- ・自治協委員としての立ち位置、何をしていくべきかが明確になった。
- ・自治協委員としての活動にやりがいを感じることもできた。もっと活動をしたくなった。
- ・自治協は、アイデア次第で幅広いことができることが分かった。もっと工夫をこらした活動が今後できると感じた。
- ・色々な角度から自治協を捉えることができた。
- ・コミ協との役割重複があるように感じた。自治協でしかできないことを考えたい。

○研修会はどのような形式が望ましいですか。(回答数 115 件) ※複数回答あり

・ 講演会	25 件 (22%)
・ パネルディスカッション	48 件 (42%)
・ 委員同士の意見交換	32 件 (28%)
・ その他	10 件 (8%)

約4割が「パネルディスカッション」と回答



【主な意見】

- ・ 委員として地域にどう関わっていったらよいのか分からず、もやもやしているので、専門家の方のお話をじっくり伺う講演会形式がよい。
- ・ 各区自治協の代表者による話し合いを通し、新しい考えが生まれるようなパネルディスカッション形式がよい。
- ・ 各委員同士が話し合うことで交流が生まれ、また気づき等を得ることが出来るため、委員同士の意見交換会形式がよい。

○今後の研修会で、取り扱って欲しいテーマ・内容はありますか。
(回答数 26 件)

【主な希望テーマ】

- ・ 各区の取組みについて
- ・ 地域の宝や課題の掘り起こし方、共有の仕方について
- ・ こども、教育に関するものについて
- ・ 地域に根差し、定着させることができた取組みについて
- ・ 区民をいかに巻き込むか 住民ニーズとの温度差の埋め方について
- ・ 人口減少、少子高齢化時代における自治協について
- ・ 他都市の類似機関について

令和元年度 区自治協議会委員研修会 アンケート

新潟市市民協働課

本日は区自治協議会委員研修会にご参加いただき、誠にありがとうございました。
委員の皆さまからの声を、今後の研修内容に生かしていきたいと思っておりますので、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

1 ご所属の区自治協議会をお教えてください（いずれかを○で囲んでください）。

①北 ②東 ③中央 ④江南 ⑤秋葉 ⑥南 ⑦西 ⑧西蒲

2 本日のご感想等をお教えてください。

(1) 本日の研修会の内容はいかがでしたか？

①非常によかった ②よかった ③ふつう ④あまりよくなかった ⑤よくなかった

(2) (1) の回答の理由をお聞かせください。

(3) 研修会参加前と比べ、区自治協議会の役割に対する理解は深まりましたか？

①非常に深まった ②やや深まった ③特に変わらなかった

(4) (3) の回答の理由をお聞かせください。

